

# IAJ (日本インターネット協会)

日本インターネット協会 (IAJ: Internet Association of Japan) は、1997年12月で創立4年を迎えた。インターネットの4年とは、決して短い年月ではない。この4年間に、日本の商用インターネットは大きな変貌を見せ、IAJの組織そのものにも影響するに至っている。この1年、IAJは日本のインターネット組織の中心として、さまざまな活動を展開してきた。その概要を記す。

## 1. 部会活動と月例会の開催

IAJは設立当初から、技術を中心にいくつもの研究部会を立ち上げて部会活動を会活動全体の中心にしてきたが、ボランティア組織の通例のせい、担当者が多忙になるに連れて、部会の開催が間遠になり、衰退する結果を生じやすい。また、いくつかの部会を休眠あるいは閉鎖にした経緯を持つ。そういう中で、ユーザー部会が商工会議所と共同で50回に及ぶイントラネットセミナー開催の企画を継続している。

IX+IS部会では、商用のIXの成立に関する情報交換を行ってきたが、NSPIX-2、3から商用IXが現実のものになり、日本インターネットエクスチェンジ株式会社 (JPIX) およびメディアエクスチェンジ株式会社 (MEX) が成立するにつれて、部会活動は休眠状態に陥った。

セキュリティ部会は、JPCERT/CCの成立を歓迎する意味で、イベント協賛を行った。しかし、IAJとしての独自の展開は要望があるにも関わらず、いまだにできていない。

WWW部会は、年度始めからのかけ声どおりに、1995年に次いで第2回目のJapan WWW Conferenceを250人を越す参加者を得て開催した。97年12月に横浜にて開催されたINTERNET WEEK'97におけるIAJの活動として特筆される、論文の公募、査

読、選定と開催の経過には、部会長の高田敏広を中心に多くの人々の参画を得た。

例年イベントを開催して、学校関係者に好評を得ていた教師

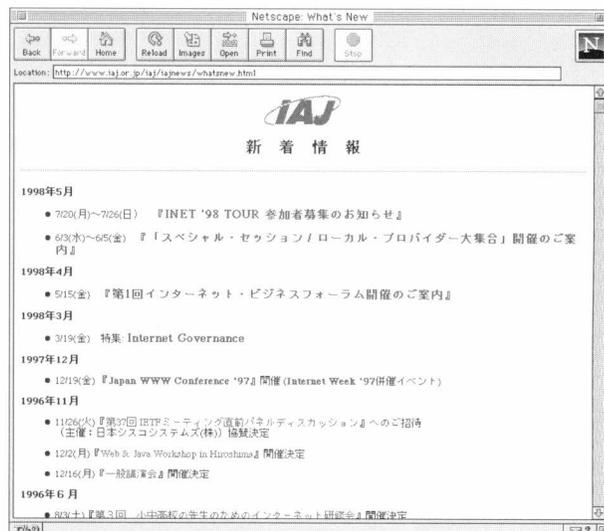
表1 1997年度のIAJの主な活動 (ワーキンググループ関係を除く)

1997年度	
4月7-11日	38th IETF Meeting (Memphis, Tennessee)
4月18日	理事会 (経団連会館)
4月21日	第38回IETF報告会
4月23-25日	Internet World (日本コンベンションセンター)
4月25日	IAJ-News Vol.4 No.1刊行
5月21日	幹事会 (1)
6月2-6日	NETWORLD+INTEROP (日本コンベンションセンター)
6月24-27日	INET'97 (Kuala Lumpur, Malaysia)
7月	幹事会 (2)
	IAJ-News Vol.4 No.2刊行
8月11-15日	39th IETF Meeting (Munich, Germany)
9月	幹事会 (3)
10月6-10日	エレクトロニクス・ショー (幕張メッセ)
10月	IAJ-News Vol.4 No.3刊行
11月	幹事会 (4)
12月16-19日	INTERNET Week'97 (パシフィコ横浜)
12月18日	IAJ総会 (パシフィコ横浜)
12月19日	Japan world wide web conference (パシフィコ横浜)
1998年度	
1月	幹事会 (5)
	IAJ-News Vol.4 No.4刊行
	APRICOT/APNG/APIA/APNIC
2月	
3月	幹事会 (6)

図1 IAJのホームページ <http://www.iaj.or.jp/>



図2 IAJ新着情報のページ



のための研修会は、今年度は開催できなかったが、97年度後半に入って、96年から持ち越してきた"ThinkQuest"の活動に着手した。"ThinkQuest"とは児童生徒が父兄およびコーチとチームを組み、教材を自分たちで開発して、コンテストを行う運動である。IAJはその国際ショナルパートナーになり、米国の本部（ANSにある）と連携して活動を開始、日本からの応募チーム数は、37チームになった。国内委員会を作り、石田晴久委員長、村井純・高橋徹副委員長で、事務局をグローバルcommonsに委託し、坪俊宏を事務局長とした。

10月から、部会活動の低調に対し、これを克服する意味あいも含め、月1回の月例会の開催を始めた。第1回は、ニフティ株式会社の山川隆常務による、名誉毀損問題に関する報告と討論を行った。会員者に参加メンバーを限定した会合であった。第2回はgTLD-MoU（高橋徹報告）、ドメイン名の新展開。第3回はThinkQuestについて（IAJ教育部会）、第4回は電子メール新聞について（インプレス）、第5回にはAsia Multimedia Forumについて（NTT）開催した。

## 2. 国内における他組織との連携

96年からネットワーク協議会、電子ネットワーク協議会、UBA（Unix Business Association）との連携を深め、共同のイ

ベント開催の方向を追求してきたが、成果はまだ少ない。IETF参加者による報告会の年3回の開催をITRCおよびISOC-JPと共催、Internet Weekへの参加など、他組織と力を合わせた展開に効果が現れる。

## 3. 国際活動への貢献

ISOC、INET97に対する貢献、およびAPIA、APNIC、APNGのアジア太平洋地域のインターネット団体に対する貢献を強めている。国際部会の会津泉部会長が、INET97のクアラルンプール開催に貢献した。

## 4. 新役員

4年を経過したIAJの役員の内入れ替えを図り、石田晴久会長を名誉会長、高橋徹事務局長を二代目会長に推挙し、12月の総会で承認を得た。幹事会、理事会ともに、人事の刷新を図っている。なお、幹事会は隔月に6回開催している。

（高橋 徹・日本インターネット協会会長）

図3 IAJが年4回発行しているニュースレター（IAJ NEWS）



CONTENTS：巻頭言

レポート / 最新技術・業界動向話題のテーマなど  
活動報告他

発行：日本インターネット協会

発売：1月、4月、7月、10月



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)